

医科向け

兵庫県保険医協会

在宅医療点数研究会(姫路会場)のご案内

「往診と訪問診療の違いは?」「強化型在宅療養支援診療所の届出は?」「同一建物居住者訪問診療料を算定した際の注意点は?」など、在宅医療に関する保険請求の基本から具体的な事例まで解説

日時 11月27日(木) 午後4時~6時
会場 姫路商工会議所1階展示場
〒670-8505 姫路市下寺町43 (TEL 079-222-6001)
講師 中央区・ろっこう医生協東雲診療所 小西 達也 先生
定員 50人 (定員になり次第締め切り)
参加費 テキスト代 3,000円 (テキスト不要の場合は無料です)
共催 株式会社エムシーシステム

2014年度診療報酬改定で政府は、「入院から在宅」の政策を推し進める一方、患者紹介ビジネスなど一部の「不適切事例」是正を理由に同一建物居住者への訪問診療料や在宅時医学総合管理料の大幅な引き下げを行い、さらにレセプトに訪問患者数や訪問診療した理由等の記載を義務付けるなど、在宅医療点数の算定について多くの制限を設けてきました。

また、強化型在宅療養支援診療所・支援病院についても、すべての連携医療機関に緊急往診・看取りの実績を求めるなど、「結果」を算定要件に取り入れる内容となっています。

改定後にも多数の疑義解釈や訂正通知が通達され、医療や介護の現場では混乱が生じています。

研究会では、2014年10月発行の保団連『在宅医療点数の手引』をテキストに、在宅医療に関わる改定のポイントや保険請求について解説いたします。在宅をされている先生はもちろん、医療事務などメディカルスタッフの皆様も奮ってご参加ください。

※『2014年度改定版 在宅医療点数の手引』テキストのみの購入も可能です。下記申込書をご利用下さい。(1冊3,000円 送料・税込)

お問い合わせは、協会事務局 TEL/078-393-1803 まで

在宅医療点数研究会(11/27 姫路) 参加申込書 FAX 078-393-1802

Table with 3 columns: 参加者氏名, 職種, テキスト (〇印を). Rows for text, video, and audio materials.

※テキストのみ購入希望の場合は、下記欄に冊数をご記入ください。

Form for purchasing the 2014 revised edition of the home medical points manual, including fields for name, address, and contact information.

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No.208 2014年11月25日発行



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1803 FAX/078-393-1802

ストップ患者負担増請願署名

支部で1,000筆超 引き続きご協力を!

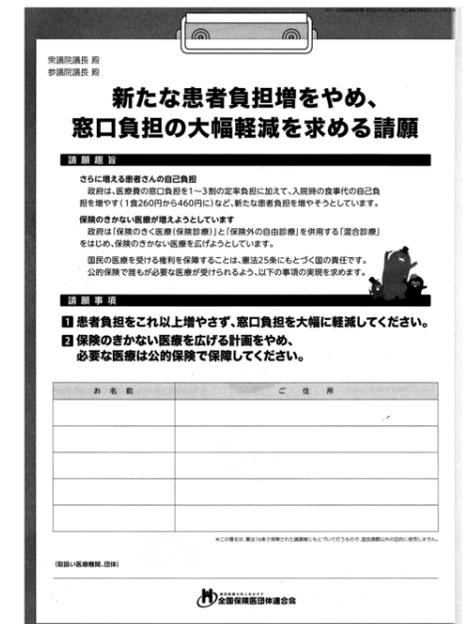
協会・保団連が取り組む、「新たな患者負担をやめ、窓口負担大幅軽減を求める請願」が、11月18日現在、姫路・西播支部では1,091筆となった。

この署名は、現在の窓口負担に定額負担を上積みすることや、入院時の食事代負担を増やすこと、漢方などを保険適応外にすることを狙う政府の新しい患者負担増計画に反対するもの。年末までを第一次として来年1月末の国会に提出する予定となっている。

協会ではこの請願署名を県下で5万筆集めることを目標としており、会員医療機関に協力のお願いと署名用紙、返信用封筒を送付している。

署名に取り組んだ医療機関からは、「わかりやすい署名なので、患者さんにもお願いしやすい」、「受付に置くだけであっという間に集まった」などの声が届いている。また「医院で500筆を目標に取り組んでいる」という医療機関もある。

支部目標は年末までに6,570筆となっており、引き続き先生方のご協力をお願いしたい。

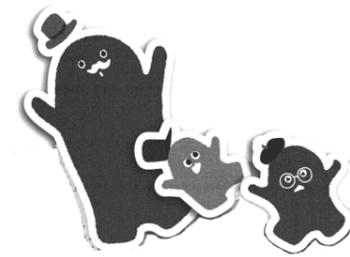


2面に続く

1面よりー

11月5日付兵庫保険医新聞インタビューで署名の取り組みを紹介していただいた、伊東禎雄先生(姫路市・伊東歯科医院)は、「選挙以外で国民が政策を要求する手段としては、署名が一番有効」と引き続き取り組んでいただいている。

すでに署名を集め、返信をいただいている医療機関もあるが、一筆でも多くの署名を集めるために、引き続きのご協力をお願いしたい。まずは院長ご自身とご家族、職員の皆さまの署名からご返送いただきたい。患者署名の署名用紙は追加注文をいただければ無料でお届けする。解説リーフレットやチラシ、ハガキ署名付きポケットティッシュなどの宣伝グッズも用意しているので、こちらもご注文いただきたい。



署名の追加注文、お問い合わせは協会事務局まで
(TEL078-393-1807、FAX078-393-1802)

11月5日付兵庫保険医新聞掲載インタビューより抜粋

年金暮らしの高齢者に影響大

伊東禎雄先生(姫路市・伊東歯科医院)

スタッフの方が患者さんからがんばって署名を集めてくれています。受付近くにポスターを掲示し、患者さんに今計画されている負担増計画を説明すると、多くの方から「これはいかな」と受付で署名していただけます。特に複数病院を受診されている、収入が年金のみの高齢の患者さんが非常に危惧されているように思います。患者負担割合が大



目立つところにポスターを貼り署名を訴えている

きくなるにつれ、受診抑制が起き、医院経営にも深刻な影響が出ることは明白です。この計画をストップさせるためにも、署名や政策提言をすることは非常に重要だと思います。政策に対し、声を上げなかったら現状は何も変わりません。国民の請願権は憲法で定められています。

選挙以外で国民が政策を要求する手段としては、署名が一番有効です。姫路市では長らく通院に対する子ども医療費助成の拡充が行われていみせんでしたが、市民の方の署名活動によって市議会が動き、拡充が来年度から行われることが決まりました。非常に喜ばしいことです。

歯科では保険で受けられる医療の範囲を広げ、メタルフレームやメタルボンドなど、有効性が認められているものが保険収載されていないことを改善してほしいです。

医療安全管理研修会

ためらわず「気づき」を発信



医療事故を防ぐための工夫を多数紹介した

支部は、10月25日に姫路自治福祉会館で医療安全管理研修会を開催し、医師、看護師、事務スタッフら50人が参加した。「一般外来で気をつけたい安全管理」をテーマに姫路赤十字病院看護副部長の坂本佳代子氏が講演を行った。

坂本氏は、「だまし絵」や動画を使い「人間の頭は都合の良いように解釈してしまう」という弱点を紹介し、思い込みが医療事故を招く危険性を訴えた。防止策として注射部位の「右」「左」カード

を渡して患者にも意識づけるなどの工夫の紹介や、トイレや施設の中に転倒などの危険性が潜んでいないか患者とも一緒に検証する重要性を訴えた。

また、WHOの「患者安全カリキュラムガイド」は、患者に接触する可能性のある全ての職員を対象にしており、組織的な管理活動の必要性として、チェックリストの作成・見直しや、医師やスタッフの間で「誰もが、誰にでも、何でも提案する」ことのできる環境作りが求められていることを紹介した。

坂本氏は「看護師、スタッフから医師に対して意見をする時には勇気がいるが、患者第一のためらわず発信しよう」と呼びかけた。

第267回支部幹事会より

10月30日(木)14時30分～ 於 イーグレ姫路第3会議室

参加 4人

◆夢前町の産廃処分場建設問題、姫路市長選などについて議論が行われた。支部の今後の企画として、医院経営研究会、サ高住見学会、憲法学習会などについて確認された。

幹事会には、会員の先生はどなたでもご参加いただけます。ぜひご参加ください。お問い合わせは、Tel 078-393-1803 F A X : 078-393-1802 E-mail : arimoto@doc-net.or.jp 担当事務局:有本まで

